

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

伝統文化の継承

最近の新聞記事から

「地域の伝統芸能、苦境 少子化で担い手不足 コロナ禍が拍車」

(毎日新聞 2022年11月1日)東京夕刊 1面

「風流踊 無形遺産に登録 ユネスコ 郡上踊など41件 継承へ各地の連携必要」

(読売新聞 2022年12月1日)東京朝刊 36面

伝統文化の継承については、以前から担い手不足が課題となっていますが、コロナ禍による祭りの中止や、伝統芸能、伝統工芸などに触れる機会の減少によってさらに拍車がかかっています。

そのような中、日本各地で伝承されてきた民俗芸能である「風流踊(ふりゅうおどり)」が、ユネスコの無形文化遺産に登録されることが決定し(2022年11月30日 ユネスコ政府間委員会)、その継承に向けた機運が高まっています。さらに、コロナ禍での新たな継承方法を模索する動きもみられ、オンラインでの伝統文化の継承が行われている例もあります。ここでは、伝統文化継承の現状や課題、取り組み事例を紹介します。

書名・記事名・サイト名	出版情報・サイト情報等
無形民俗文化財研究協議会報告書 第15回 新型コロナ禍の無形民俗文化財	国立文化財機構東京文化財研究所無形文化遺産部編集 国立文化財機構東京文化財研究所無形文化遺産部 2021 中央：3821/34/15 http://id.nii.ac.jp/1440/00009022/ 図書 Web情報
<p>コロナ禍の無形民俗文化財の現状や課題、オンラインでの伝統継承事例などを挙げている。活動の制限がある中、各地の祭り、行事などでどのように対応したか、協議会での報告がまとめられている。同研究所サイト内、「新型コロナウイルスと無形文化遺産」では、新型コロナの影響や、それに対する支援情報なども掲載している。</p>	
文化財の活用とは何か	<p>國學院大學研究開発推進機構 学術資料センター編 図書 六一書房 2020 西部：7091/56</p>
<p>p51-74「3 無形民俗文化財をどう継承するか」で、祭り・芸能継承の現状や課題を挙げている。また、広域連携による民俗芸能継承に向けた取り組みのほか、個別の保護団体による取り組みを、企業・団体の人的支援制度や帰郷者参加、後継者育成などの7つに類型化し、それぞれの具体例について説明している。</p>	
変貌する祭礼と担いのしくみ	<p>牧野修也編著 学文社 2021 中央：C386/218 図書</p>
<p>様々な地域での祭礼の現状や、継承の事例が記されている。都市祭礼、学校教育とのかかわり、祭礼が観光資源化することによる課題などが挙げられている。</p> <p>「第八章 祭礼を〈縮小〉させる地域社会」では千葉県印旛郡栄町酒直のオビシヤ(作物の豊凶を占う年頭の祭祀)の例が紹介されている。</p>	



文化財/文化遺産としての民俗芸能 無形文化遺産時代の研究と保護	俵木悟著 勉誠出版 2018 中央：38681/81	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">図書</div>
<p>祭りや民俗芸能などを保護する意義や継承の方法について論じられている。「第二部 無形民俗文化財の伝承・記録・活用」では、民俗芸能の保存会について具体例を挙げ、その組織の実態と変遷を検証し、保存会に何ができるか考察している。また、無形民俗文化財の映像記録作成の基本的な考え方や手法、注意点を述べ、その有効活用のために行われている事業なども紹介している。</p>		
伝統工芸の地域資源としての活用に関する実態調査＜結果に基づく意見の通知＞ 令和4年6月	総務省行政評価局 https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/hyouka_22061000157890.html	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Web 情報</div>
<p>結果報告書では伝統工芸の地域資源としての活用例を整理し、産地の現状や課題解決に向けた取り組みをまとめている。需要の拡大、後継者の確保、原材料・用具等の確保の取り組みなど、多様な事例を挙げている。</p>		
伝統工芸の『わざ』の伝承 師弟相伝の新たな可能性	林部敬吉・雨宮正彦著 酒井書店 2007 東部：75021/33	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">図書</div> 
<p>伝統工芸の伝承について、徒弟方式による職人育成を中心に述べている。陶磁器、筆、和紙、織物などの伝統技術継承の実例から、技能伝承の方法や技能修得の過程をまとめている。また、日本の師弟相伝方式とドイツの伝承方法であるマイスター制度について、その特徴を列挙し比較、考察している。</p>		
デジタル記録とオンラインを活用した 伝統技術の継承と復元製作 (特集 デジタルアーカイブの実技)	金城弥生『デジタルアーカイブ学会誌』（第5巻2号 2021.4）p86-90 西部 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsda/5/2/5_86/pdf/-char/ja	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">雑誌</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Web 情報</div>
<p>デジタルデータやオンラインを活用した伝統技術継承の方法、課題について、3つの実例を用いて述べている。動画や聞き取りでの記録方法、オンラインでの技術継承方法や注意点を挙げている。</p>		
特集 文化財の継承につなげる新たな試み	『月刊文化財』（第692号 2021.5） p4-38 東部	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">雑誌</div>
<p>「文化財の魅力をひきだし、伝える」、「文化財とのふれあいを増やす」、「文化財を支える体制を構築する」という3つのテーマごとに、祭礼や能楽などの継承に関する様々な事例を掲載している。</p>		
社会全体で文化財を継承していくための方策 —文化財を支える市民団体等の 活動状況について—	文化庁 https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/supporter/index.html	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Web 情報</div>
<p>「3 民俗文化財の保存・継承等を中心に活動を行っている団体」では、各地の団体の概要や活動内容を知ることができる。「4 伝統の技を伝える—選定保存技術保持者等」では、伝統技術継承の事業を紹介している。</p>		
地域の伝統的な食文化の保護・継承のための 手引き（平成27年3月）	農林水産省 https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/shoku_bunka_27tebi_ki.html	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Web 情報</div>
<p>食文化の保護・継承活動のための活動の要点をまとめた手引き。誰が、何を、どのようにして活動を進めていくのか、取り組み事例を交え解説している。活動の効果的な発展のためのポイントも紹介している。</p>		